

古泉財団奨学金

2026 年度奨学生募集要項

1. 趣旨

古泉財団奨学金は、新潟県内の指定校に在籍し、学業優秀で将来有望な学生を経済的に支援することを目的としています。

本奨学金は、学業成績および人物面で優れ、大学院進学を志すなど強い向学心を備え、将来の活躍と地域社会への貢献が期待される学生に対する学修奨励金として給付されるものです。

給付型奨学金であるため返済の義務はなく、創設以来、卒業後の進路や職業選択については、奨学生本人の自由が尊重されています。

奨学生には、将来の計画を主体的に描き、大学生活において不断の努力を積み重ね、その成果として自身の希望を実現していくことが期待されています。

2. 応募資格

この奨学金の応募資格は、以下の条件を満たす方を対象とします。

- (1) 指定校（修業年限 4 年の学部・学科）に在籍する 4 月 1 日時点で 2 年生であること
- (2) 学力基準と家計基準を満たすこと
- (3) 他の給付型奨学金を併用していないこと **【JASSO 給付奨学金生（多子世帯含）応募不可】**
（大学による学納金減免措置及び学業奨励を目的とした給付型奨学金、その他一定のものは併用可）

3. 採用人員

20 名程度

学力基準：GPA 2.5以上 家計基準：所得金額 1,000万円以下（目安）

新潟大学での募集人員は 2 名まで（学内選考：有）

4. 金額及び支給方法

(1) 支給金額

年額 24 万円（月額 2 万円）

(2) 支給期間

原則として、奨学生として採用された時点から大学の正規の修学期間（36 か月間）

但し、財団の規程により、奨学金の廃止事由に該当する場合には 1 年間で終了する場合有

(3) 支給時期

原則として、毎年 6 月末日に年額 24 万円を一括支給

5. 応募方法

応募に関する具体的な手順は、在籍する大学の事務局にお問い合わせください。

各大学事務局は、学内選考を通過し、学長推薦を得た応募者の書類を財団宛に提出してください。

なお、応募書類は返却いたしませんので、ご了承ください。

また、応募書類の受付後、記載内容の確認のため、財団担当者が本人と面談を行う場合があります。

【学内選考・応募書類】

下記の書類を学務部学生支援課奨学支援係まで提出してください。

1. 奨学金申請書（学内選考用）
2. 成績証明書（現時点で発行できるものを提出）
3. 父母の令和7年度（令和6年分）非・課税証明書（コピー不可／原本提出必須）
ア．総所得金額、イ．扶養控除に係る情報、ウ．課税標準額（課税総所得額）、
エ．市（区）町村民税の調整控除額が記載されたものを用意してください。
詳細は別紙「奨学金学内選考（家計審査）における必要書類について」を必ず参照してください。
学内選考において使用し、選考後は財団に提出します。
父又は母に収入がない場合でも令和7年度（非・課税証明書の提出が必要です。）

【学内選考後・提出書類】

財団に推薦する学生には、財団指定の以下の応募書類を提出いただきますので、あらかじめご了承ください。

- ① 推薦書（指導教員等に作成を依頼し、学部長印の証明を受けてください）
奨学生願書（本人が記入すること）
成績証明書（2年次（令和8年4月初旬以降に発行可能））
在学証明書（2年次（令和8年4月初旬以降に発行可能））
個人情報の取扱いに関する同意書
家計支持者の直近の収入証明書類（本学提出済みの課税証明書の写しを提出。改めて提出不要。）

学内応募期限

2026年3月10日（火）17時00分【奨学支援係 必着】

学内選考は、令和7年度第2学期の成績確定後に実施します。
第2学期の成績確定は令和8年4月初旬以降となるため、
学内選考の結果は令和8年4月中旬を目途に、在籍番号から始まる
メールアドレス宛てに通知します。

6. 選考及び決定

(1) 選考方法

推薦された応募者について、選考委員会による審査を経て、代表理事が奨学生を決定します。

(2) 採否結果の通知

6月下旬までに、在籍する大学を経由して本人へ通知します。

(3) 確認書類の提出

各大学事務局は、奨学生に採用された方について、以下の確認書類を財団宛に提出してください。

【確認書類】

- ・誓約書（所定の様式） 1通

7. 奨学金の休止、停止又は廃止

奨学生が次のいずれかに該当する場合、奨学金の支給を休止、停止又は廃止をすることがあります。

- (1) 休学し、又は長期にわたって欠席したとき
- (2) 学業又は性行などの状況により指導上必要があると認めたとき
- (3) 傷い疾病などのため成業の見込みがなくなったとき
- (4) 学業成績又は操行が不良となったとき
- (5) 奨学金を必要としない理由が生じたとき
- (6) 奨学生として適当でない事実があったとき
- (7) 在籍する大学で処分を受け学籍を失ったとき
- (8) その他奨学生としての資格を失ったとき

8. 報告

奨学生は、1年間の学修状況について、学修状況報告書を作成してください。

なお、報告書の内容は、本奨学金の広報活動のため、個人情報特定されないよう抜粋し、広報誌やホームページ等へ掲載する場合がありますので、ご了承ください。

各大学事務局は、在籍する奨学生について、以下の書類を翌年4月30日までに財団宛に提出してください。

【報告書類】

- ・学修状況報告書（所定の様式） 1通
- ・学年末時点の成績証明書（大学発行のもの） 1通

【書類提出先・問い合わせ先】

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
（総合教育研究棟A棟1階 学生支援課①番窓口）

新潟大学 学務部学生支援課 奨学支援係

TEL：025-262-6089

E-mail：shougaku@adm.niigata-u.ac.jp

窓口及び電話対応時間：8時30分～17時15分（平日のみ）

古泉財団奨学金の利用をお考えの方へ

採用時期	大学2年生の4月 (1年生の1月から2年生の4月までに応募)	支援金額	年額24万円 総額72万円 (一定の成績要件を満たした場合は3年間支援)	成績要件	GPA 2.5 以上
申込手続	1年生の1月以降 大学の奨学金窓口で (大学を通じて、古泉財団へ申込)	採用基準	将来目標と実現に向けた学修意欲があること (学業優秀で将来の目標が明確であって、地域の発展に貢献する意欲があること)		

募集・申出

1月以降、大学から奨学生募集の案内(ポータル、一斉メール等)があります。在籍する大学の奨学金窓口で申し出てください。

願書	推薦書	所得証明書類
志願理由欄に、 自分の考え を書いてください。 字数が少ないので、 簡潔にわかりやすく書いてください。	指導教員の先生から、 推薦書を書いてもらってください。 指導教員の先生が、「あなたの良いところ」 「将来に期待すること」を書いてくれます。	一定の目安としての所得基準はありますが、 絶対要件ではありません。 あなたの 学修意欲を重視 しますので、大学の奨学金窓口で相談してください。

応募

書類を揃えて、大学の奨学金窓口で提出してください。

選考・採用

学生生活の基礎的支援を行います。未来を切り拓く、将来性ある学生を応援します。

海外留学支援を利用したい場合	大学の学修支援を利用したい場合	大学院進学・卒業研究支援を利用したい場合
大学による支援 派遣留学支援制度／海外留学奨学金 併用可 行政による支援 JASSO海外留学支援制度／トビタテ!留学JAPAN 併用可	大学による支援 学修奨励金／成績優秀者奨学金／資格取得奨学金 併用可	古泉財団研究費助成金 併用可 他の研究助成金も併用可

まずは、大学の奨学金窓口で相談してください。

学内選考用奨学金申請書

応募奨学金		奨学団体名:						
フリガナ			年齢	生年月日	学籍番号			
氏名		[男・女]	才	年 月 日 生				
所属	学部	学科	年	年 月 入学				
	研究科	専攻	[修士 博士課程]	年 月 卒業(修了)予定				
本人住所	〒							
連絡先	携帯電話: E-mail:							
家族住所	〒							
◆現在、併給不可の奨学金を受給中の方や、併給不可の奨学金の大学推薦を受けている方の応募はご遠慮ください。 ◆他の奨学団体の給付奨学生として推薦されている場合や現に奨学生として給付奨学金を受給している場合は、他の応募者を優先する場合があります。								
奨学金等受給状況	日本学生支援機構 給付奨学金		[無・申請中・受給中]	[I 区分・II 区分・III 区分・IV 区分・支援区分外]		期間: ~ 年 月		
	日本学生支援機構 第一種奨学金		[無・申請中・受給中]	月額 万円	期間: 年 月 ~ 年 月			
	日本学生支援機構 第二種奨学金		[無・申請中・受給中]	月額 万円	期間: 年 月 ~ 年 月			
	上記以外の奨学金	奨学金名:	[給付・貸与 無・申請中・受給中]	月額 万円	期間: 年 月 ~ 年 月			
		奨学金名:	[給付・貸与 無・申請中・受給中]	月額 万円	期間: 年 月 ~ 年 月			
	前年度授業料免除		前期:[申請無・1/3免除・半額免除・2/3免除・1/4免除・全額免除・不許可] 後期:[申請無・1/3免除・半額免除・2/3免除・1/4免除・全額免除・不許可]					
過去に本奨学金を受給したことはありますか。		[はい・いいえ]	「はい」を選択した場合		年度受給			
家族情報	本人	通学別:[自宅・自宅外]						
	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	勤務先等			2024年12月31日時点で生計維持者に扶養されている
		父						
		母						
		父子・母子 世帯 (年 月 死亡・生別)						
	本人以外の就学者	続柄	氏名	年齢	学校設置区分	学校種	2024年12月31日時点で生計維持者に扶養されている	
					[国・公・私] 立	[小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学]		
					[国・公・私] 立	[小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学]		
					[国・公・私] 立	[小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学]		

学内選考用奨学金申請書

応募者氏名	
(家庭の事情等を具体的に) 奨学金希望の理由	
将来の目標	

添付書類	☐ 成績証明書(本人分)	☐ 令和7年度(非)課税証明書(別紙参照)
------	-------------------------------------	--

＜注意＞

- ◆応募する奨学金ごとに、申請書・証明書類等を1部ずつ用意してください。
- ◆[]の箇所は、該当するものに○印をつけてください。

学内選考用奨学金申請書

応募奨学金		奨学団体名：〇〇〇奨学財団					
フリガナ	ニイガタ イチロウ		年齢	生年月日	学籍番号		
氏名	新潟 一郎		〔男・女〕 〇〇 才	20XX年〇月〇日 生	T24XXXXX		
所属	〇〇 〔学部〕 〇〇 〔学科〕 研究科 専攻 〔修士 博士課程〕 〇年			2025年 4月 入学 202X年 3月 卒業(修了)予定			
本人住所	〒 000-0000 新潟県〇〇市〇区〇〇 アパート名(部屋番号)						
連絡先	携帯電話:090-0000-0000 E-mail:*****@*****.jp						
家族住所	〒 000-0000 〇〇県〇〇市〇区〇〇						
◆現在、併給不可の奨学金を受給中の方や、併給不可の奨学金の大学推薦を受けている方の応募はご遠慮ください。 ◆他の奨学団体の給付奨学生として推薦されている場合や現に奨学生として給付奨学金を受給している場合は、他の応募者を優先する場合があります。							
奨学金等受給状況	日本学生支援機構 給付奨学金		〔無・申請中・受給中〕		〔Ⅰ区分・Ⅱ区分・Ⅲ区分・Ⅳ区分・支援区分外〕		
	日本学生支援機構 第一種奨学金		〔無・申請中・受給中〕		月額 5.1 万円 期間: 2025年 4月～ 年 月		
	日本学生支援機構 第二種奨学金		〔無・申請中・受給中〕		月額 万円 期間: 年 月～ 年 月		
	上記以外の奨学金	奨学金名:	〔給付・貸与(無)申請中・受給中〕		月額 万円 期間: 年 月～ 年 月		
		奨学金名:	〔給付・貸与(無)申請中・受給中〕		月額 万円 期間: 年 月～ 年 月		
	前年度授業料免除		前期:〔申請無〕1/3免除・半額免除・2/3免除・1/4免除・全額免除・不許可 後期:〔申請無〕1/3免除・半額免除・2/3免除・1/4免除・全額免除・不許可				
過去に本奨学金を受給したことはありますか。		〔はい・いいえ〕		「はい」を選択した場合	年度受給		
家族情報	本人	通学別:〔自宅・自宅外〕					
	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	勤務先等	2024年12月31日時点で生計維持者に扶養されている	
		父	新潟 太郎	〇〇	株式会社●●●		
		母	新潟 花子	〇〇			
		父子・母子 世帯 (年 月 死亡・生別)					
		姉	新潟 良子	25	株式会社〇〇〇	×	
	本人以外の就学者	続柄	氏名	年齢	学校設置区分	学校種	2024年12月31日時点で生計維持者に扶養されている
		弟	新潟 二郎	17	〔国・公・私〕立	〔小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学〕	〇
					〔国・公・私〕立	〔小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学〕	
					〔国・公・私〕立	〔小・中・高・高専・専修(高等・専門)・大学〕	

学内選考用奨学金申請書

応募者氏名	新潟 一郎
(家庭の事情等を具体的に) 奨学金希望の理由	
将来の目標	

必ず応募者本人が具体的に
記入してください。

添付書類	☒ 成績証明書(本人分)	☒ 令和7年度(非)課税証明書(※別紙参照)
------	--	--

＜注意＞

- ◆応募する奨学金ごとに、申請書・証明書類等を1部ずつ用意してください。
- ◆[]の箇所は、該当するものに○印をつけてください。

※(非)課税証明書に必須情報の記載がなく再提出を求められるケースが多発しています。証明書の記載情報を必ず確認した上で提出してください。

奨学金学内選考（家計審査）における必要書類について

生計維持者2人分（原則として父母の2人分。ひとり親の場合は1人分）について、以下の書類を提出してください。

該当事項	証明書等	発行所
奨学金の申請を希望する者（全員）	・生計維持者2人分（ひとり親の場合は1人分）の「令和7年度(非)課税証明書（令和6年1月1日～12月31日に係るもの）」の写し ※生計維持者に収入がない場合も「(非)課税証明書」の提出が必要です。 ※市町村により証明書の名称が異なる場合があります。 ※審査においては、<u>下記の情報が必要です。</u> <u>(非)課税証明書に必須情報が記載されるか事前に発行所に確認の上、発行依頼をしてください。</u> ＜非課税証明書の必須情報＞ ○総所得金額 ○扶養控除に係る情報 ○課税標準額（課税総所得額） ○市(区)町村民税の調整控除額	市区町村

※審査において必要な情報に不足がある場合は、上記以外の書類の提出を追加で依頼することがあります。あらかじめご了承ください。

【本件に関する問い合わせ先】

〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地

新潟大学学務部学生支援課奨学支援係

（総合教育研究棟A棟1階①番窓口）

TEL：025-262-7337 E-mail：shougaku@adm.niigata-u.ac.jp

※電話及び窓口対応時間：8時30分～17時15分（平日のみ）